

ソフトバンクとミノス、 LPガス業界のDX推進に向けて協業

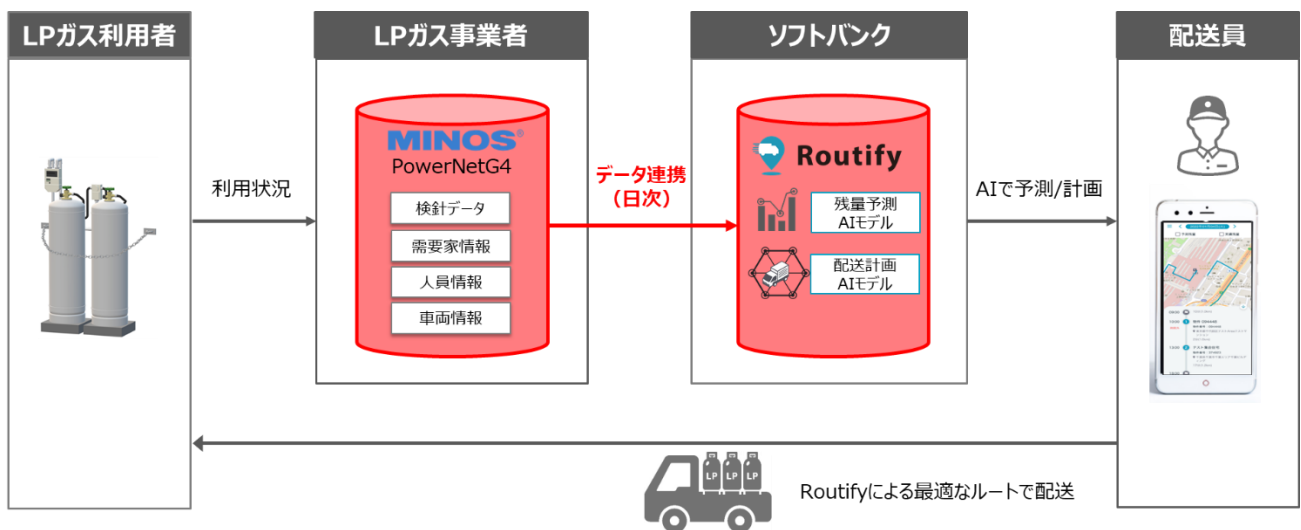
～両社の強みを生かしてLPガス事業者の業務効率化を推進し、
作業の負荷軽減や人手不足の解消などに貢献～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮川 潤一、以下「ソフトバンク」）と株式会社ミノス（本社：東京都港区、代表取締役 社長：藤野 和男、以下「ミノス」）は、LPガス業界におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に向けて、2024年8月28日に協業を開始しました。ミノスが提供するLPガス事業者の顧客データや検針データなどをクラウドで管理する基幹システム「PowerNetG4」と、AI（人工知能）がLPガス容器内の残量を予測して最適な配送計画・ルートを自動で策定する「Routify」や、LPガスの契約者にウェブ明細やオンライン決済を提供する「Gascope」などのソフトバンクのサービスを組み合わせ、LPガス事業者の業務効率化や省人化につながるソリューションをワンストップで提供します。

近年、LPガス業界では配送員の高齢化や若手の人材不足が課題になっており、業務の効率化や省人化が急務とされています。一方で、LPガス事業者が管理する顧客データや検針データなどを蓄積した基幹システムを、外部のシステムやサービスと連携させるには時間とコストがかかり、業務の効率化や省人化をすぐに実現することは困難です。このたびソフトバンクとミノスのサービスを組み合わせワンストップで提供することで、LPガス事業者は業務効率化による配送員の負荷軽減や人手不足の解消などにつながるソリューションを、従来と比べて短い期間で簡単かつスムーズに導入し、利用を開始することができます。

・属人的な配送業務を効率化するソリューションをワンストップで提供

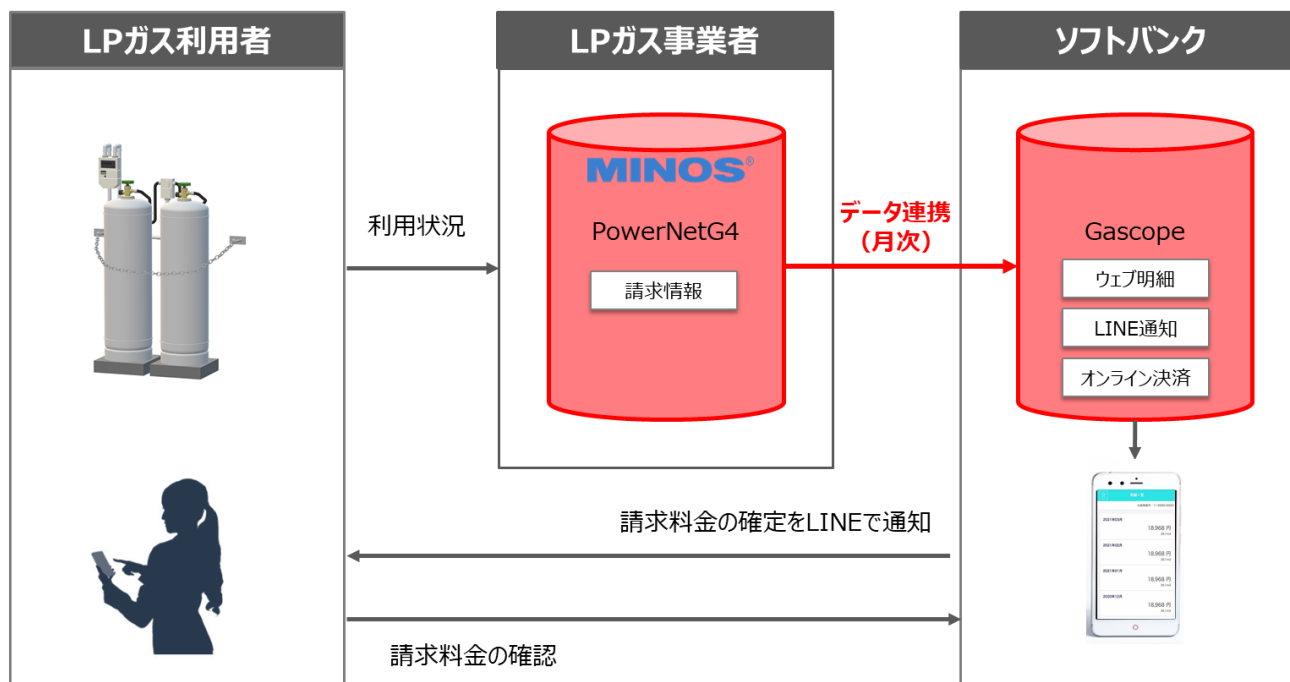
ミノスの「PowerNetG4」とソフトバンクの「Routify」を導入することで、LPガス事業者が配送員の勘や経験を基に属人的に行っている配送業務を効率化します。通常は「PowerNetG4」と「Routify」を連携させて導入するまでに約10カ月かかりますが、ワンストップにしたソリューションを提供することで、最短約3カ月で導入が可能です。



・明細発行や請求に関する業務を効率化するソリューションをワンストップで提供

ミノスの「PowerNetG4」とソフトバンクの「Gascope」を導入することで、LPガス事業者の明細発

行や請求に関する業務を効率化します。通常は「PowerNetG4」と「Gascope」を連携させて導入するまでに約6か月かかりますが、ワンストップにしたソリューションを提供することで、最長約2か月で導入することができます。



ソフトバンクとミノスは、両社の強みを生かして、クラウドサービスや AI を活用したソリューションの提案から、導入支援、運用・保守・監視までのトータルサポートを行うことで、LP ガス業界の DX を推進していきます。

三ツ輪ホールディングス株式会社の代表取締役社長 尾日向竹信氏からのエンドースメント

「ソフトバンクとミノスが取り組む LP ガス業界向けの業務 DX の推進に向けた取り組みに賛同します。また、三ツ輪ホールディングス傘下の三ツ輪運輸では、LP ガス配送最適化サービス『Routify』の実証実験を 2024 年 10 月から甲府営業所で開始する予定です。両社の取り組みを通して、革新的なサービスが展開されることを期待しています」

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。